

あなたと市政をつなぐ情報紙

府中市議会議員／自由クラブ（国民民主党）

ゆうきりょう

市政
通信

毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



府中市の物価高騰対策・・・全市民ひとりに5000円分の「バニラVisaギフトカード」配付に向けて準備を進めています

府中市では、近年の物価高による市民生活への影響を踏まえ、国の「重点支援地方交付金」と、府中市独自の財源を活用した物価高騰対策として「バニラVisaギフトカード」を配付します。このギフトカードは、食料品や生活必需品の購入など、日常生活の幅広い場面でご利用いただけます。また全市民を対象とし、一人あたり5千円分を世帯主に配付することで、家計の負担軽減を図ります。現在、今年の6月ごろからの配付開始に向け、準備を進めています。

★バニラVisaギフトカードとは・・・Visa加盟店での支払いに利用できるプリペイドカードです。あらかじめ、一定金額（世帯人数×5,000円）が入金されており、特別な手続きなどは必要なく、店舗に持っていきただけで使用できます。また、オンラインショッピングでも使用できます。使い方などの詳細は、府中市のホームページをご覧ください。

1. 対象者・・・令和8年3月1日時点で府中市に住民登録のある方が対象。原則、申請不要で、市から世帯主宛に順次発送します。
2. 配付内容・・・世帯人数分×5,000円が入金されたバニラVisaギフトカード1枚を世帯主宛に送付
3. 配付時期・・・令和8年6月から8月にかけて順次発送予定。宅配ボックスへの投函は行わず、原則対面で受け渡します。
4. カードの有効期限・・・令和9年1月31日、有効期限を過ぎると使用できなくなります。
5. カードの使い方や使用可能店舗については、[バニラVisaギフトカードの公式ホームページ（外部サイト）](#)において紹介していますのでご確認ください。

※府中市が行うバニラVisaギフトカード配付事業については「専用コールセンター」にお問い合わせください。

電話番号：0570-034-566（ナビダイヤル）

受付時間：午前9時から午後5時まで（平日のみ）

開設期間：令和8年4月15日から令和8年8月31日まで

※バニラVisaギフトカードの利用方法等については「バニラVisa専用ダイヤル」にお問い合わせください。電話番号：0570-077-096（ナビダイヤル）受付時間：午前9時から午後6時まで

西武線多磨駅前 三井不動産「ららぽーと（仮称）」
・・・今年中にも工事着工へ、28年度中の開業めざす

4月9日付建設工業新聞ネットニュースによると、「三井不動産が「（ららぽーと 仮称）府中朝日町商業施設計画」の環境影響評価（環境アセス）書をまとめた」とあり、西武多摩川線多磨駅東側にある、「調布基地跡地に延べ11・6万平方メートル規模の大規模商業施設を建設する」と報じています。工事についてはこの年内にも着工し、2028年度（令和11年度）中の開業を目指すとしています。

多磨駅 周辺を地域経済、防災、治安、街の美化など多彩な面で繁栄する街に

私も議会において府中市が、三井不動産や地域の自治会、東京外語大学などとも協力して、地域経済、防災、治安、街の美化などについて連携することを促進する考えについて質しました。

★府中市の答弁⇒多磨駅周辺については、府中市都市計画マスタープランにおい

て、都市整備用地における商業施設や公園、大学などと連携しながら調和・共生を図り、周辺住民や新しい来街者にとって魅力的なまちづくりを進めることとしています。そうしたなか、今回の三井不動産株式会社の事業に関しては、この方針を念頭に、昨年度から府中市地域まちづくり条例に基づき協議を進め、同条例に基づく助言において、東京外国語大学をはじめとする調布基地跡地一帯の関係機関との連携による、地域社会への貢献を念頭に置いた枠組みの構築を検討するよう求めています。なお、三井不動産株式会社からは、同大学などの地域との連携については、現在検討していると伺っており、今後、事業が進むにつれて具体化されていくものと考えています。



武蔵野プレイス（公共図書館）を府中市民も相互利用させてほしい

西武多摩川線沿線の住民の方々からのご要望で、「JR武蔵境駅前にある公共図書館『武蔵野プレイス』を、相互利用させてほしい」というご要望があり、議会で取り上げました。

★府中市の回答⇒府中市では国分寺市、八王子市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市、国立市、小金井市の8市と連携し、相互利用の登録者数は、約1万5千人の登録がされている。公共施設の相互利用については、府中市と相手の自治体との間で、利用者増になった際の職員体制や諸課題について、合意を得るまで期間を要した。武蔵野市との相互利用については双方にとってメリットや課題について、調査研究したい。（以上、市の答弁より）

★ゆうきりょうの要望⇒「市内の北東地域に住む方がたからは、府中市の中央図書館へのアクセスが不便との声がある。市からも広報などで、図書館のHPから図書館の予約ができて、地域の地区図書館で受け取りができることや、ふちゅう電子図書館がオープンされ、電子書籍の利用もできるなど、こうした市の図書館サービスについてぜひ市民に広くアピールしてほしい。また武蔵野市との間で、公共施設との連携についても、ぜひ検討してほしい」と要望しました。



四谷小学校の近くで倒木「ドカーンという凄い音が近隣に鳴り響く」

4月10日付FNNインターネットニュースによると、府中市内の路上で木が倒れているのが見つかったと報じています。同ニュースによると「10日午後2時前、府中市四谷で、『木が倒れていて電線にもたれかかっている』と目撃者から110番通報がありました」として、「用水路のわきにある木が、何らかの原因で道をふさぐように道路側に倒れた」とのことです。周辺住民の声として「近くで働いていた人は、『音がすごかった。ドカーンと』と話し、朝から風が強かったと証言しました」とあります。同ニュースによると、今のところけが人の情報はなく、建物などの被害もないということであり、「倒木現場から150メートルほどの場所には小学校などもあり、市などが木の撤去作業を進めるとともに、倒れた原因を調べる」とのことです。(参考、FNNインターネットニュース、4月10日付)

府中市の樹木は大丈夫か・・・樹木医による定期点検の予算を計上
こうした倒木事案は都内でも複数発生していますが、府中市では令和8年度予算のなかに、「公園緑地等管理運営費」が計上され、枯損が始まる前の樹木の健全度を把握し、より適切な樹木管理をすることで倒木等の事故がない公園を目指すため、公園にある樹木について、樹木医等による定期的な点検、診断を行うものとして、予算・・・1248万円、財源は市の一般財源です。



東府中駅付近の踏切で電車と自動車の衝突事故発生



4月2日朝、「京王線の東府中駅近くの踏切(緑町3丁目3番地付近)で、列車と乗用車が衝突する事故がありました。同ニュースによると「2日午前5時20分ごろ、京王線の府中駅と東府中駅の間の踏切で列車と乗用車が衝突する事故が発生」。乗客などにケガはなかった」とのことです。(参考、読売ネットニュース)

高野市長は立体化の事業化のために用地取得を進めると答弁
2019年10月にもこの踏切で事故が発生、これをうけて19年12月の府中市議会本会議一般質問で、この事故について他会派の議員の方が質疑で取り上げた際、高野市長は「将来の事業化を見据えて側道整備のために、用地取得を

・危険な東府中駅付近の踏切

進めたい」と答弁。東府中駅付近の線路について、連続立体化に向けた取り組みを進めるとの意向を示していますが、完成時期は未定です。

★踏切内の事故未然防止機能の強化、バリアフリー対応も行うよう要望

こうした状況も踏まえ、過去にも私から市内沿線における京王線の踏切安全対策について、京王電鉄に要望書を提出しています。①人や車の感知機能を有するAI技術の導入を図るなど(他の鉄道会社では実施)、様々な角度から現場の状況に応じて、事故を未然に防ぐ措置を講じること。

また踏切内のバリアフリー対応についても、府中視覚障害者福祉協会の方と現地調査を行い、いただいた要望事項について、市議会の一般質問でも取り上げたほか、京王電鉄にも申し入れを行っています。今後も市や京王電鉄に粘り強く要望してまいります。(ゆうきりょう)

2年連続発生、学校給食食材の産地偽装事件！・・・府中市が今後の対策方針を公表

府中市の学校給食において、2年連続で食品偽装事件が発覚しましたが、市はその後、対応策について新たな方針を発表しました。(以下、市のHPから抜粋)

昨年、令和7年6月、府中市の学校給食で使用していた食材の一部で、産地偽装が行われていたことが発覚しました。当該食材の安全性自体に問題はありましたが、市ではこのことを重く受け止め、再発防止と学校給食に対する信頼確保のため、食材の品質確保に向けた取組を強化します。

1. 検査体制の強化・・・産地判別検査は抜き打ちで実施し、実施日程や対象品目は事前に公表しない。
2. 納入業者の品質管理体制の確認・・・これまで新規登録時のみ実施していた納

入業者への現地視察について、継続して登録している業者にも定期的に実施する。

3. 契約におけるリスク管理の強化・・・納入された食材に産地偽装などの不備が判明した場合には、市は当該食材に係る代金の支払いを行わないことを明確に規定する。

～子どもたちの学校給食を守るために、このような事件を防ぐためにも、今後も市に対策強化について要望してまいります。(ゆうきりょう)



自転車の青切符制度がスタート・・・府中市も市民に広報啓蒙活動をしてほしい(市民の声)

この4月1日から自転車に関する交通ルールが改正されましたが、それにともない市民の方からも複数、ご意見を伺います。そこで匿名でご意見ご要望をいただいたので、以下紹介させていただきます。



★歩道を走行せざるを得ない自転車の立場もある

4月1日より青切符制度の運用が開始いたしました。主に自転車に頻度高く乗る者としての意見をお伝えさせてください。自転車が原則車道を走らなくてはいけないことは存じ上げておりますし、それを実践しております。つい先日の出来事ですが、旧甲州街道にて車道に路上駐車している車がありました。車通りも多かったことから、それを避けるために一時的に歩道に乗り上げました。大國魂神社の西側の旧甲州街道沿いだったので、この道は少なくとも大人4～5人が横並びに並べる広さです。

その歩道の車道側を徐行していると、男性がわざわざ道を塞ぐかたちで目の前までやって来て「なんで歩道で、走ってんだよ!」と言い捨ててきました。実は同日、別の時間帯にも女性に道を塞がれ、同じようなことをされました。こちらには正当な理由があって歩道に乗り上げているため、本当はそこで話をすることも出来ましたが、後ろに幼児を乗せており、怖い思いをさせたくないことから我慢して帰宅しました。

★府中市として大人も含めて広く交通ルールを学ぶ機会を設けてほしい

これらが個人的な事象であることは百も承知なのですが、そもそもの話で①路上駐車を取り締まっていないこと、②自転車の正しい交通ルールが浸透していないこと、この2点が問題なのではないかと思っています。大人になってから正しい交通ルールを学びアップデートする機会は、一般的には免許更新のタイミングくらいかと思います。免許を持っていない人は尚更機会を得にくいと感じています。警察が主管になるとは思いますが、府中市として大人も含めて広く交通ルールを学ぶ機会を設けていただき、広報を強化いただけたら大変有り難く思っています。(以上、市民の方の声から)



今年も市民パレードに馬場先青年会(幸町)の仲間みなさんと共に、お囃子の部隊として参加。おけい太鼓の演奏で、日頃の練習を披露させていただきました。(ゆうきりょう)

●ゆうきりょう(結城亮)プロフィール・・・1970年(昭和45年)5月11日生まれ、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、大学1、2生時に新聞奨学生、ゼンセン同盟(現UAゼンセン)や建設組合などの労組職員を経て、2015年府中市議に初当選、現在3期目、国民民主党所属、東京民社協会会員、府中市議会では「自由クラブ」に所属。

●ゆうきりょうに府中市へのご要望などお寄せください。街のインフラ、福祉、防災、産業、環境衛生、教育など。アドレス yuki4551@ozzio.jp

電話 090-4136-7642(電話にでない際は、留守電にお名前をお願いします)

住所・・・府中市紅葉丘2-6-3、メイプルタウン吉野D202

●ゆうきりょう 朝の駅頭報告 月曜・・・多磨駅東口、火曜・・・多磨霊園駅南口、水曜・・・東府中駅北口、木曜・・・多磨駅西口、金曜・・・多磨霊園駅北口(雨天時、自身の都合により中止の場合あり)朝8時までいます。